

# 「おうみ学生未来塾」(2016年度) 受講案内

## 未来のために受講してみませんか

### 1、「おうみ学生未来塾」(大学連携型PBL科目)とは

- ☑ 豊かな自然と歴史、都市から農山漁村まで様々な地域の特徴をもつ「おうみ」(滋賀県)をフィールドに、地域に出かけ、地域の人々と話し合っ、課題を発見し、具体的な解決をめざすトレーニングを行います。実践的な課題解決能力、コミュニケーション能力を向上させ、自ら未来を切りひらく力を高めることができます。
- ☑ 滋賀県内12大学・短期大学と地域の自治体などが協力し、地域で、他大学の学生と一緒に学び、交流する機会を提供します。
- ☑ 滋賀県内の大学・短期大学に所属する学生は、だれでも受講できます。対象は、四年制大学が2年次以上、短期大学が1年次以上です。
- ☑ 単位互換制度により所属大学・短期大学の単位として認定されます。
- ☑ 受講料は無料です。ただし、受講地までの交通費、合宿費などが必要です。
- ☑ おうみ学生未来塾科目は、1年に1科目のみ出願できます。



### 2、大学連携型PBL科目とは

- ☑ 「おうみ学生未来塾」は大学連携型PBL科目です。

たとえ知識を持っていても、いざ現実の問題に直面したら、どうしていいのかわからないのが普通です。PBL(Problem Based Learning)科目は課題解決型学習と呼ばれ、身近な問題や事例を素材とし、問題発見・問題解決に向けてチームで取り組む手法を用いた科目です。知識あるいは情報を補いながら、現実の問題解決に応用していくトレーニングをはじめ、チーム内で他者から学ぶ手法や他者と一緒に問題解決に主体的・能動的に関わろうとする態度を養うことができます。
- ☑ **多様な学生が集う大学連携型のメリット**

滋賀県内には専門分野の異なる大学・短期大学が12校もあり、そこに学ぶ学生が、それぞれの視点や知識を持ち寄ることで、現実の問題を多面的に理解することができます。そこから多面的な解決策を提案し、最も効果的で実行可能なものを選択することができます。さらに、異なる大学・短期大学の学生と体験を共有し、コミュニケーションできることも大きなメリットです。

### 3、2016年度「おうみ学生未来塾」科目

#### ① おうみ学生未来塾・湖北

## 地方活性化を担う地域産業の振興と課題

民間の活力が高いと言われる長浜。商人のまちとして発展した長浜では、民間の事業者たちが独自に知恵を絞り、三方よしの理念のもと事業の形を変えながら生き抜いてきました。

長浜には、本業の技術を活かして時代に即した事業を展開している注目企業が多く存在します。この授業では、そうした注目企業から数社を選んで会社の歴史、特色と経営課題について経営者からお話を伺うとともに、現場での見学をふまえて課題解決の可能性を探ります。

企業がどのように知恵を絞り生きているかを知るまたとない機会です。

ぜひ参加してみませんか。



長浜市街地と伊吹山

長浜バイオ大学・長浜市役所・長浜商工会議所 提供

科目名 おうみ学生未来塾・湖北

(長浜バイオ大学科目名 おうみ学生未来塾)

実施場所 滋賀県長浜市田村町1266

長浜バイオ大学、同大学町家キャンパス

実施時期 8月22日(月)、23日(火)、  
24日(水) 9:30-18:00

担当教員 長浜バイオ大学 松島三兒教授 ほか

授業テーマ 「地方活性化を担う地域産業の振興と課題」

到達目標 ①長浜の地域産業と課題について理解する。

②調査から提言に至る論理的思考プロセスを理解できる。

授業形態 1日目 大学集合・オリエンテーション、企業経営者等による講義

2日目 長浜の地域企業の訪問調査、グループ別調査分析

3日目 グループディスカッション、発表、レポート作成

受講対象 大学2年次以上 短期大学1年次以上

成績評価 レポート100% 2単位

受講生定員 36名(ただし、受講者が少人数の場合は開講しないことがある。)

アクセス等 1日目、3日目 長浜バイオ大学 JR田村駅から徒歩2分

2日目 町家キャンパス JR長浜駅東口から黒壁方面徒歩10分

費用負担 開講地までの交通費

## ② おうみ学生未来塾・湖東

### 人が育む「東近江森と水の学校」づくり提案

滋賀県には、素朴けれども魅力的な、観光地ではないけれども地域資源に恵まれた、過疎化が進んでいるけれども、その中で地域の特性を生かして活躍する多くの人材がいる、そういう地域がたくさんあります。

東近江市の奥永源寺地域もそうした地域のひとつです。ここでエコツーリズムやグリーンツーリズムに繋がる『東近江森と水の学校』のプランを一緒に作ってみませんか。

このプログラムを通して、地域で活躍する多くの人材から話を聞き、受講生同士で意見を交換することで、地域課題について理解を深め、その解決策を提案できる力を養うことを目指します。



東近江市奥永源寺地域

#### 滋賀県立大学・東近江市 提供

科目名	おうみ学生未来塾・湖東（滋賀県立大学科目名「地域づくり人材論」）
実施場所	滋賀県東近江市蛭谷町342番地2 木地師やまの子の家
実施時期	8月19日（金）、20日（土）、21日（日）9:00-18:00
担当教員	滋賀県立大学 上田 洋平 助教 ほか
授業テーマ	「人が育む『東近江森と水の学校』づくり提案」
到達目標	①地域資源としての人材及び人材力について理解し説明することができる。 ②地域とのコミュニケーションを通じて人を含む地域資源の特長を分析し説明することができる。 ③人材及び人材力を活かした地域課題の解決策について、企画し提案することができる。
授業形態	1日目 集合、移動、オリエンテーション、地域講師による講義 木地師やまの子の家 宿泊 2日目 フィールドワーク（東近江市奥永源寺地域、長町（おさちょう）、八日市市中心市街地の3か所を予定） 木地師やまの子の家 宿泊 3日目 チームごとに森と水の学校の計画、予算等をまとめ、発表・講評
受講対象	大学2年次以上 短期大学1年次以上（ただし、滋賀県立大学生は1年次以上）
成績評価	ワークブック70%、提案発表30%
定員	30名（ただし、出願が10名未満の場合は開講しない）
アクセス等	集合場所 JR 能登川駅東口（集合時間は、別途連絡）
費用負担	集合場所までの交通費、 食費・宿泊費（2泊分宿泊費を含み合計7千円程度を見込む。詳細は別途連絡）

### ③ おうみ学生未来塾・湖南

## 草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト

本科目は、みなさんがボランティア活動を通じて地域に貢献しつつ、地域社会の一員としての自覚と能力を育み、専門知識の応用的な理解を深めることを目標としています。

「草津街あかり・華あかり・夢あかり」という例年3万人の来場者が訪れる草津の秋を彩る一大イベントの企画・運営に関わり、来街者や地域の人々に地域資源やこだわりの店舗を知ってもらうための様々なアイデアを提案、具現化し、それをまちの人たちや行政と協力して実行します。

事業が成功した時の達成感や、地域との一体感を感じるとともに、まちづくりマネジメントや集客事業の広報などを学ぶことができます。



草津街あかり・華あかり・夢あかり



立命館大学・草津市 提供

科目名	おうみ学生未来塾・湖南 (立命館大学科目名・クラス名「シチズンシップ・スタディーズⅠ (G2)」)
実施場所	滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス、 草津駅東側商店街一帯
実施時期	通年(4月から12月まで)
担当教員	立命館大学共通教育推進機構 山口洋典 准教授
授業テーマ	「草津街あかり・華あかり・夢あかりプロジェクト」
到達目標	①「場」の運営に携わることを通じて、社会問題の認識が深まる。 ②地域参加を通してシチズンシップ向上の自覚を得る。 ③「問いを探す」「深く考える」習慣がつく。 ④社会で学ぶ自己形成に関する継続学習への意欲を持つ。
学習の流れ	事前学習Ⅰ、Ⅱ、オリエンテーション、事前学習Ⅲ ボランティア活動(42時間以上)、コアタイム(週1回) 中間振り返り、事後学習Ⅰ、Ⅱ、活動報告会、個人レポート提出
成績評価	レポート、平常点評価(日常的な授業における取組状況の評価)100% この科目はP/F評価(「合」「否」のみ評価)です。評価は下記の要件、それぞれの内容をもとに行います。 ① 事前学習Ⅰ～Ⅲ、中間振り返り、事後学習Ⅰ・Ⅱ、活動報告会のすべて に出席していること

- ② 「シチズンシップ・スタディーズⅠ（地域活性化ボランティア）」プログラムのボランティア活動（オリエンテーション含む）を合計42時間以上行なっていること
- ③ 定められた期限までに評価対象物（レポートなど）を提出すること

定員 単位互換学生5名程度（立命館大学生定員30名）

※選考を通過した人数が4人以下の場合、閉講とする場合があります。

- 注意事項
- ① 4月13日(水)5時限（16:20～17:50）アドセミナリオ308号での初回ガイダンスに出席のこと。
  - ② 科目詳細については、シラバスおよびサービスラーニングセンターHPより「受講ガイド」を必ず確認すること。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/slc/curriculum/detail/studies1.html/>

費用負担 交通費、学研災付帯賠償責任保険料（210円）



## 4、出願から成績評価まで

### 1. 履修計画を立てる（3月～4月上旬）

受講案内や科目開講大学で開かれるガイダンスなどで、授業スケジュール（開講曜日、時限）、授業実施場所などを確認のうえ、受講したい科目を選んでください。シラバスは、コンソーシアムホームページで3月中旬に公開予定です。

### 2. 出願（4月上旬～中旬）

環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページより出願票をダウンロードし、受講したい科目名と志望理由などを記入して、所属大学に出願します。科目によっては、履修許可発表が授業開始に間に合わない場合がありますので、許可発表までは仮受講してください。

### 3. 許可発表

科目開講大学で選考され、選考結果は所属大学・短期大学を通じて4月末頃までに通知されます。出願した場合は、必ず所属大学・短期大学に確認してください。許可発表の後、科目開設大学・短期大学によっては「特別聴講生証」発行などの手続きが必要な場合がありますので、科目開設大学・短期大学の指示に従ってください。また、受講は原則として無料ですが、実習費、演習費が必要な科目については、履修許可の後で、科目開設大学・短期大学の指示に従って納入してください。

### 4. 追加募集（6月頃）

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は、6月頃に追加募集を行います。追加募集の許可発表は7月上旬頃の予定です。詳しくは所属大学・短期大学、環びわ湖大学・地域コンソーシアムホームページで確認してください。

### 5. 休講、補講、教室変更等の連絡

休講等の連絡は、原則として科目開設大学・短期大学から所属大学・短期大学に通知します。所属大学・短期大学で各自確認してください。

### 6. 試験・レポート提出等

単位互換科目の試験・レポート提出等に関しては、所属大学の期間と異なることがあります。必ず科目開設大学の単位互換担当窓口や掲示・案内などで確認してください。

### 7. 成績評価・単位認定

単位互換科目の成績通知の時期や単位認定の時期（学期末・年度末）は所属の大学・短期大学により異なりますので所属の大学・短期大学に確認して下さい。

## 5、よくある質問

### 1. 授業の詳細な内容を知りたいです。

環びわ湖大学地域コンソーシアムホームページからシラバス（科目一覧）を確認してください。シラバスは3月中旬公開予定です。

### 2. 「おうみ学生未来塾」は誰でも参加できますか？

環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換制度を使っているため、滋賀県内の大学・短期大学に所属している学生であれば誰でも受講できます。ただし、4年制大学の場合は2年次以上の学生である必要があります。

### 3. どのようにすれば、「おうみ学生未来塾」を受講することができますか？

シラバスに記載されている授業や活動の日程・実施場所等を確認し、参加が可能であることを確かめた上で、環びわ湖大学地域コンソーシアムのホームページから出願票をダウンロードして、志願理由などを記入の上、所属大学・短期大学から出願してください。

### 4. 開講日や提供大学が異なる複数の「おうみ学生未来塾」を出願することは可能ですか？

科目運営の都合上、同一年度に「おうみ学生未来塾」を複数科目出願することはできません。よく考えた上で、一科目のみ出願してください。

### 5. 追加募集（6月）で出願はできますか？

夏季集中科目で受講定員に余裕がある場合は追加募集されますので、出願できます。その場合でも、同一年度に複数のおうみ未来塾科目を出願することはできません。

### 6. 授業に関わる専門的な知識や技能がないのですが、受講できますか？

受講可能年次（学年）の制限や、必要な専門技能等の条件がある場合は、シラバスに記載されますので、それらを確認の上、出願してください。

受講条件に関する記述がない場合は、年次や専門的力量的の有無に関係なく受講できます。

### 7. 受講料等の負担はありますか？

基本的に受講料等は無料ですが、実習費、演習費が必要になる場合があります。また、現地までの交通費やフィールドワークの場合の合宿費等は自己負担となります。詳しくはシラバスを確認してください。